

鹿児島県



- ・東京から（鹿児島or奄美大島乗換） 約3時間55分
- ・大阪から（鹿児島or奄美大島乗換） 約2時間35分
- ・福岡から（鹿児島or奄美大島乗換） 約3時間40分
- ・沖縄から（奄美大島乗換） 約2時間20分
- ・鹿児島から（喜界島直行） 約1時間10分
- ・奄美大島から（喜界島直行） 約15分



【鹿児島⇄喜界島】

- ・鹿児島発—喜界着（月・火・木・金）
下り便：出港17:30 - 入港翌04:30
- ・喜界発—鹿児島着（火・水・金・土）
上り便：出港21:00 - 入港翌08:30

【奄美大島⇄喜界島】

- ・奄美発—喜界着（火・水・金・土）
上り便：出港18:20 - 20:30着
- ・喜界発—奄美着（火・水・金・土）
下り便：出港05:00 - 07:00着

喜界島

沖縄県

概要

令和8年度（サンゴ留学4期生）募集

課程

全日制

学科

普通科・商業科

お問合せ

喜界町役場企画観光課 サンゴ留学コーディネーター

〒891-6202 鹿児島県大島郡喜界町大字湾1746
TEL：0997-65-3682



サンゴ留学
Instagram



説明会情報



喜界高校HP



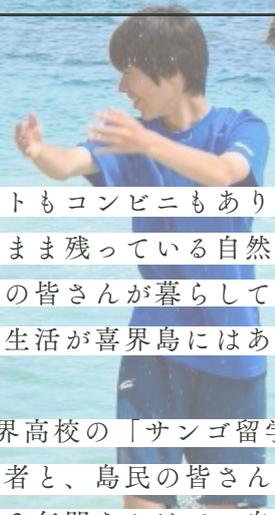
サンゴ留学

鹿児島県立喜界高等学校 × 喜界町役場 × サンゴ礁科学研究所

鹿児島県の離島「喜界島」で

研究を通して

自分の好き・やりたいを見つける3年間



ここには、デパートもコンビニ也没有ありません。
ですが、ありのまま残っている自然があり、
温かな島民の皆さんが暮らしています。
都会にはない、豊かな生活が喜界島にはあります。

喜界高校の「サンゴ留学」では
仲間と、研究者と、島民の皆さんと一緒に
3年間をかけて、自分の中の
「好き・知りたい・不思議」のもと、
喜界島をフィールドに研究をしていきます。

3年後、自分では想像できなかった「自分」に出逢いませんか？

喜界島での暮らし

喜界島での暮らしには、島民の皆さんの温かさを感じる瞬間がたくさんあります。休日には、地元の農家さんの声かけでサトウキビやカボチャの収穫を体験することもあり、自然や人とのつながりを実感できます。放課後には、制服のまま海に寄って泳いだり、夕日を眺めたりと、島ならではのゆったりとした時間が流れます。海開きや夏祭り、集落の行事など、季節ごとのイベントも盛りだくさんです。「島うちゅ（島の人たち）」と自然に繋がる“きかい（機会）”が、日常の中にあふれています。「ないなら、つくる」——そんな前向きな暮らし方も、喜界島の魅力のひとつ。ここでの毎日は、すべてがまなびとあそびに変わります。地元ではできない貴重な体験が、きっとあなたを待っています。



寮生活

全国から集まった仲間とともに暮らす寮生活。夜には笑い声があふれ、悩みも語り合えば軽くなる。テスト期間には教え合い・助け合いながら、共に乗り越えていきます。そんな日々の積み重ねが、かけがえのない絆を育てます。寮では、寮長・副寮長のほか、イベント係や清掃係など、さまざまな役割を寮生自身が担い、点呼や日々の声かけも自分たちで行います。寝坊しそうな仲間をみんなで起こす、そんな助け合いも自然と生まれます。

「役割」と「責任」が生活の中にあり、仲間を思いやる気持ちやチームワークが育まれる環境。みんなで作る寮生活は、「主体性」と「社会性」を養う大切な時間です。



※帰省について：年間3回（夏休み・冬休み・春休み）寮の閉寮期間を設けています。この期間は、離れて暮らすサンゴ留学生とご家族が、ゆっくりと過ごすための大切な時間です。原則として、ご自宅への一時帰省をお願いしています（GWは期間が短いため任意）。

食事

寮の朝食と夕食は、経験豊富な調理スタッフが毎日手作りで提供。栄養バランスに配慮した、家庭的で温かい味わいが特徴です。中でも、奄美群島の郷土料理「鶏飯（けいはん）」は、島出身のスタッフが腕をふるう本格派で、寮生に大人気です。

また、学校や研究活動の日の昼食には、島内4つのお弁当店と調理スタッフが日替わりで作る手作り弁当を提供。彩り豊かでボリューム満点のメニューは、島ならではの味わいが楽しめ、授業や課外活動の合間にほっと一息つける時間を届けています。



施設

サンゴ寮は喜界町が運営するサンゴ留学生専用の住まいです。全室完全個室で、2階は男子エリアと女子エリアに壁で区切られており、プライバシーと安心が守られています。共有スペースには洗濯機・乾燥機・電子レンジ・トースター・冷蔵庫・テレビなど生活に必要な家電を完備。清潔で使いやすい環境が整っています。各個室には机・ベッド・椅子・クローゼット・金庫・パイプハンガーラック・本棚・エアコンが備わり、勉強やリラクセスに最適です。

また、2024年度まで寮として使用されていた旧サンゴ寮（同敷地内）にあるキッチンには自由に利用可能。休日にはお菓子作りや昼食の調理を楽しんだり、仲間と一緒に料理をするなど、和気あいあいとした雰囲気の中で、それぞれが自由に食事の時間を楽しんでいます。

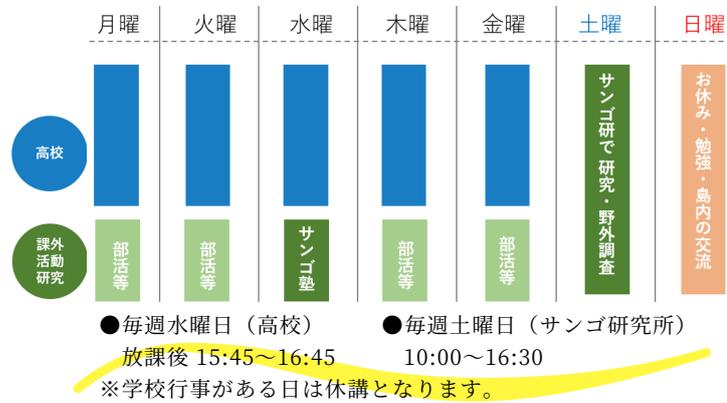


寮の日課 夏(3-9月)ver.

平日	休日
06:30~08:00 朝食	07:30~09:00 朝食
07:00 点呼	08:00 点呼
学校	
18:30~20:15 夕食（食器の片付け含む）	
20:00 門限（施錠） ※冬(10-2月)：門限19:30	
20:15 点呼・連絡共有	
20:15~20:30 清掃時間	
20:30~21:50 自活時間	20:30~23:00 自活時間
21:50~22:50 学習時間	
05:30~22:50 入浴	
23:00 消灯（通話禁止・寮Wi-Fiオフ）	

サンゴ研究活動

サンゴ留学の最大の魅力は、その舞台である喜界島にあります。喜界島は、生きたサンゴ礁が長い年月をかけてそのまま隆起してきた、世界でも珍しい島。「奇跡の島」とも呼ばれるこの地には、日本唯一のサンゴ礁専門の研究機関「喜界島サンゴ礁科学研究所」があります。留学生たちはこの研究所で、国内外の研究者とともに、自分の「好き」「知りたい」「不思議」を出発点に、喜界島全体をフィールドにした3年間の研究活動に取り組みます。学びの中心は、自ら感じ、発見し、伝える力を育てること。2年生では学会で研究成果を発表する機会もあり、夏には1週間のサイエンスキャンプも実施されるなど、深い学びと成長が待っています。



【研究のステップ】

1年生 | グループワークでテーマ探し

地層やサンゴの石垣、湧水などを調査しながら、「何が気になる?」「どこが不思議?」を仲間と一緒に見つけていきます。

2・3年生 | 個人研究に本格挑戦

自分の「好き」「知りたい」「不思議」をテーマに研究を深め、ポスターを作成し、さまざまな場で発表します。

【参加大会 (実績)】

- 日本ジオパーク全国大会
- 日本サンゴ礁学会
- 日本地球惑星科学連合大会

【発表の場 (島内)】

サイエンスキャンプ、サンゴ祭り、その他 成果発表会

サンゴの白化について興味があるな
海洋ゴミ
サンゴの蛍光...不思議だな
マイクロプラスチック
湧水調査
島民にインタビューしてみよう
魚が好きだから魚関連を研究してみたいな

スタッフ・研究員の紹介

サンゴ研究活動には多様な形でスタッフが関わっています。常駐職員は留学生の学習状況を見守りながら支援を行い、専門的な研究員や島外の研究者は常駐スタッフを通じて進捗を把握し、オンラインレクチャーを行ったり、必要に応じてサポートを提供したりとしています。学生はコミュニケーションツールを活用して、疑問や課題について随時相談することが可能です。こうした環境の中で、いかに疑問や分からない箇所を自主的に追求できるかが、研究の深化において重要な鍵となります。



留学生の暮らしを支える、さまざまな大人たち

島での生活では、寮や学校、研究所など様々な場所で、多くの大人たちが留学生の成長と安心を支えています。

■ サンゴ留学コーディネーター・ハウスマスター・生活支援員

全員が移住者で、寮生に最も近い立場で日々の生活をサポート。多様な背景を持つスタッフが、一人ひとりの主体性を大切にしながら安心できる環境づくりを行っています。

■ 調理・寮監スタッフ

調理スタッフが毎日家庭的な朝食と夕食を提供。寮監は夜間・休日に常駐し、声かけや見守りを通して寮生を支えます。

■ 島親 (しまおや) 制度

留学生一人につき、島の大人が一年間寄り添う「もうひとつの家族」。農作業や食事を通じて地域と温かくつながります。

—そして、「島っちゅ (喜界島の人々)」も島の行事や日常の中で自然に関わりながら、留学生たちをあたたく迎えてくれます。地域のひととのふれあいが、島での生活をより豊かにしてくれます。

費用

寮費	25,000 円/月
研究費	35,000 円/月
合計	60,000 円/月

毎月の費用は、「寮費」25,000円と「サンゴ研究活動で学ぶ費用」35,000円の合計60,000円です。
※2025年4月現在
※寮費には町からの補助があります。
※費用は変更となる場合があります。

サンゴ留學生の一言!



外に出ると、子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、たくさんの方が優しく声をかけてくれフレンドリーに接してくれます。また、それぞれ異なる環境で育ってきた留学生たちとの生活は新鮮なもので様々な話題が飛び交い、毎日尽きることなく賑やかな日々を送っています!

2期生 普通科2年 (埼玉県出身)



サンゴの研究をできるのはもちろん、島での交流や活動も楽しむことができます。休日だけでなく放課後に海で遊ぶこともでき、ダイビングの資格も取ることができます。島ならではの貴重な体験が数多くあり、充実した高校生活を送ることができます!一緒に高校生活を過ごしませんか?

2期生 普通科2年 (静岡県出身)